

4月10日、M.D.アンダーソンがんセンター名誉教授の小牧律子先生による「小細胞肺癌患者における予防的全脳照射、海馬回避全脳照射、オリゴ脳転移への 定位放射線治療」のテーマで、先端医学トピックスの講義をいただきました。小牧先生による講義は昨年4月に続いて2回目となります。

小牧先生は1971年に渡米後、放射線腫瘍学を専門として、1994年にM.D.アンダーソンがんセンター放射線腫瘍学教授に就任、長く放射線腫瘍学の最先端をリードされてこられました。

今回の講義ではその中でも、小細胞肺癌における予防的全脳照射について小牧先生ご自身の論文を含めた歴史的経緯を概説しつつ、全脳照射による認知機能障害などの長期的な後遺症といった問題点を背景とした、近年の診断技術の発展、IMRT・定位照射に代表される高精度放射線治療の発展による海馬回避全脳照射、また少数にとどまるオリゴ脳転移に対しては定位放射線治療を実施している現状に関して、幅広く解説をいただきました。

講義後は内容に関する質問のほか、当科の佐々木教授をはじめ、多数の留学生を指導していたご経験から、留学や、留学生としての心構えに至るまで、活発な質疑応答が行われ、非常に充実した時間となりました。

